



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月14日

東・福

上場会社名 ポート株式会社

上場取引所

コード番号 7047

URL <https://www.theport.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 春日 博文

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長

（氏名） 丸山 侑佑

（TEL） 03-5937-6466

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,415	43.2	407	8.5	257	△2.9	237	△0.3	162	△19.9	162	△19.9	161	△18.5
2021年3月期第3四半期	3,082	—	375	—	265	—	237	—	202	—	202	—	198	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益									
			円 銭				円 銭							
2022年3月期第3四半期			14.18				13.73							
2021年3月期第3四半期			18.07				17.52							

※EBITDA（営業利益＋減価償却費）

（注）当社は、2022年3月期第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。そのため、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,698	2,401	2,401	27.6
2021年3月期	6,755	2,022	2,022	29.9

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の配当予想は未定であります。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000 ～7,500	—	700 ～900	—	550 ～700	—	550 ～700	—	400 ～500	—	400 ～500	—	35.70 ～44.62

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注2）当社は2022年3月期第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	12,033,890株	2021年3月期	11,708,220株
2022年3月期3Q	457,190株	2021年3月期	457,100株
2022年3月期3Q	11,432,469株	2021年3月期3Q	11,194,236株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(IFRSの任意適用について)

当社は、2022年3月期第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンライン配信にて決算説明会を開催いたします。詳細につきましては、2022年2月1日に公表いたしました「2022年3月期第3四半期決算説明会開催のお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(初度適用)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	24

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社グループは第1四半期連結会計期間より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)を適用しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種率の上昇により、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から徐々に回復しつつあったものの、新たな変異株の出現により年末にかけて再び感染拡大に向かっております。また海外においても、アメリカやイギリスで1日の感染者数が過去最多を記録するなど、今後も国内外の経済情勢は予断を許さない状況となっております。

当社グループが属するインターネットメディア業界において、モバイルにおける運用型広告、動画広告の成長が続き、「インターネット広告費(媒体費+制作費+物販系ECプラットフォーム広告費)」は2兆2,290億円(前年比105.9%)と新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも堅調に推移し、マスコミ四媒体広告費に匹敵する規模となりました(株式会社電通発表「2020年日本の広告費」)。

このような環境の中、当社グループにおいては、「世界中に、アタリマエとシアワセを。」というコーポレート・ミッションのもと、インターネットメディア事業を展開しております。

当社グループでは、就職系メディア「キャリアパーク!」及び「就活会議」、リフォーム系メディア「外壁塗装の窓口」、カードローン系メディア「マネット」等のインターネットメディアを展開し、マッチングビジネスで蓄積したユーザー基盤・顧客基盤をもとに、さらにクロスセル展開、リアルプロダクトやサービスの開発を積極的に推進しております。

また、当第3四半期連結会計期間において新たに「エネルギー領域」に参入し、2021年11月24日には「エネチョイス」、「引越手続き.com」等のマッチングDXメディアを運営する株式会社INEの子会社化を決定するなど、当社の強みであるマッチングDXを軸に、再生可能エネルギーの創出量増大に向け、様々な施策を展開しております。

さらには、中期経営計画実現のための重要ポイントである送客先拡大のためのアライアンス戦略として、株式会社チェンジとの資本業務提携の締結をはじめ、各領域において業務提携を積極的に行っております。

こうした施策の成果もあり、また中期経営計画の実現に向けた積極的な投資活動を実行していることから、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益4,415百万円(前年同四半期43.2%増)、営業利益257百万円(前年同四半期2.9%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益162百万円(前年同四半期20%減)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントはインターネットメディア事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結累計期間における流動資産は5,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,998百万円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物が2,212百万円増加した一方、その他の金融資産が156百万円減少したことによるものであります。

非流動資産は、2,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しました。これは主に使用権資産が78百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、8,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,942百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結累計期間における流動負債は1,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少しました。これは主にその他の金融負債が194百万円減少したことによるものであります。

非流動負債は4,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,689百万円増加しました。これは主に社債及び借入金が増加した一方、その他の金融負債が357百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,563百万円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結累計期間における資本合計は2,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円増加しました。これは主に、資本金が106百万円、資本剰余金が110百万円、利益剰余金が162百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は、27.6%(前連結会計年度末は29.9%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主に長期借入れによる収入2,536百万円、長期借入金の返済による支出373百万円、割賦未払金の返済による支出300百万円、株式の発行による収入199百万円等により2,212百万円増加し、4,623百万円(前年同四半期比1,961百万円増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は380百万円(前年同四半期比51百万円減)となりました。これは主に、税引前四半期利益237百万円の計上、営業債務及びその他の債務の減少228百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は79百万円(前年同四半期は1,262百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出33百万円、及び無形資産の取得による支出20百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,910百万円(前年同四半期比682百万円増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,536百万円、長期借入金の返済による支出373百万円、割賦未払金の返済による支出300百万円、株式の発行による収入199百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月13日付「2021年3月期決算短信」で公表しました2022年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年11月12日に公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2022年3月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による不確実性のある状況を鑑み、レンジでの予想をしております。売上収益についての下限は現状の経済活動水準が維持された場合を、上限はワクチン接種拡大に伴い下半期で新型コロナウイルス感染拡大前の経済活動水準に回復した場合を想定しております。利益については、売上収益の前提に加え、既存事業におけるオーガニック成長のための投資費用を盛り込んでおり、経営判断による当該費用のコントロールによってレンジの範囲以内で変動いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	移行日 (2020年4月1日) —単体—	前連結会計年度 (2021年3月31日) —連結—	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日) —連結—
<b>資産</b>				
<b>流動資産</b>				
現金及び現金同等物		2,264	2,411	4,623
営業債権及びその他の債権		765	804	749
その他の金融資産		543	458	302
その他の流動資産		43	105	103
流動資産合計		<u>3,616</u>	<u>3,780</u>	<u>5,779</u>
<b>非流動資産</b>				
有形固定資産		27	59	57
使用権資産		431	433	355
のれん		—	1,909	1,909
無形資産		187	429	426
その他の金融資産		98	87	99
繰延税金資産		27	53	69
その他の非流動資産		0	1	2
非流動資産合計		<u>772</u>	<u>2,975</u>	<u>2,919</u>
資産合計		<u>4,388</u>	<u>6,755</u>	<u>8,698</u>

(単位：百万円)

	注記	移行日 (2020年4月1日) —単体—	前連結会計年度 (2021年3月31日) —連結—	当第3四半期 連結会計期間 (2021年12月31日) —連結—
負債及び資本				
負債				
流動負債				
営業債務及びその他の債務		91	102	91
社債及び借入金		435	636	553
その他の金融負債		509	1,054	859
未払法人所得税等		102	14	91
契約負債		127	74	35
リース負債		78	104	104
返金負債		15	11	54
その他の流動負債		60	104	185
流動負債合計		1,419	2,103	1,977
非流動負債				
社債及び借入金		604	1,816	3,932
引当金		25	28	28
リース負債		352	331	254
繰延税金負債		—	96	104
その他の金融負債		127	357	—
その他の非流動負債		20	—	—
非流動負債合計		1,130	2,630	4,319
負債合計		2,550	4,733	6,297
資本				
資本金		819	827	933
資本剰余金		787	807	918
利益剰余金		631	791	953
自己株式		△399	△399	△400
その他の資本の構成要素		—	△3	△4
親会社の所有者に帰属する持分合計		1,838	2,022	2,401
資本合計		1,838	2,022	2,401
負債及び資本合計		4,388	6,755	8,698

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) —連結—	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) —連結—
売上収益	3,082	4,415
売上原価	673	954
売上総利益	2,409	3,461
販売費及び一般管理費	2,280	3,245
その他の収益	159	59
その他の費用	22	18
営業利益	265	257
金融収益	0	7
金融費用	28	28
税引前四半期利益	237	237
法人所得税費用	35	75
四半期利益	202	162
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	202	162
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	18.07	14.18
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	17.52	13.73



第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日) —連結—	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) —連結—
売上収益	1,241	1,500
売上原価	248	332
売上総利益	992	1,168
販売費及び一般管理費	856	1,038
その他の収益	70	6
その他の費用	12	2
営業利益	193	134
金融収益	0	7
金融費用	7	9
税引前四半期利益	186	131
法人所得税費用	25	26
四半期利益	161	105
四半期利益の帰属 親会社の所有者	161	105
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.37	9.07
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.96	8.80

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) —連結—	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) —連結—
四半期利益		202	162
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産		△3	△0
その他の包括利益合計		△3	△0
四半期包括利益		198	161
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		198	161

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日) —連結—	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) —連結—
四半期利益		161	105
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産		△0	—
その他の包括利益合計		△0	—
四半期包括利益		160	105
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		160	105

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	その他の資本の構成要素合計		
2020年4月1日時点の残高		819	787	631	△399	—	—	1,838	1,838
四半期利益		—	—	202	—	—	—	202	202
その他の包括利益		—	—	—	—	△3	△3	△3	△3
四半期包括利益合計		—	—	202	—	△3	△3	198	198
株式報酬		—	10	—	—	—	—	10	10
新株の発行		6	6	—	—	—	—	12	12
自己株式の取得		—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計		6	16	—	—	—	—	23	23
2020年12月31日時点の残高		825	804	833	△399	△3	△3	2,060	2,060

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	その他の資本の構成要素合計		
2021年4月1日時点の残高		827	807	791	△399	△3	△3	2,022	2,022
四半期利益		—	—	162	—	—	—	162	162
その他の包括利益		—	—	—	—	△0	△0	△0	△0
四半期包括利益合計		—	—	162	—	△0	△0	161	161
株式報酬		—	4	—	—	—	—	4	4
新株の発行		106	106	—	—	—	—	212	212
自己株式の取得		—	—	—	△0	—	—	△0	△0
所有者との取引額合計		106	110	—	△0	—	—	217	217
2021年12月31日時点の残高		933	918	953	△400	△4	△4	2,401	2,401

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) —連結—	(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) —連結—
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	237	237
減価償却費及び償却費	109	149
金融収益及び金融費用	28	20
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	383	58
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△142	△228
その他	△25	155
小計	591	392
利息の支払額	△16	△16
法人所得税等の支払額	△142	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	432	380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20	△33
有形固定資産の売却による収入	14	0
無形資産の取得による支出	△2	△20
投資有価証券の取得による支出	—	△10
事業譲受による支出	△134	△13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,364	—
定期預金の払戻による収入	250	—
その他	△4	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50
短期借入金の返済による支出	—	△62
長期借入れによる収入	1,150	2,536
長期借入金の返済による支出	△394	△373
リース負債の返済による支出	△63	△77
社債の発行による収入	724	—
社債の償還による支出	—	△75
株式の発行による収入	—	199
新株予約権の行使による株式の発行による収入	12	13
割賦未払金の返済による支出	△200	△300
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,227	1,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	397	2,212
現金及び現金同等物の期首残高	2,264	2,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,661	4,623

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(初度適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間からIFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表を開示しております。我が国において一般に公正妥当と認められる会計基準（以下、日本基準）に準拠して作成された直近の連結財務諸表は2021年3月31日に終了する連結会計年度に関するものであり、移行日は2020年4月1日であります。

(1) 遡及適用に対する免除規定

IFRS第1号は、IFRSを初めて適用する企業に対して、原則として遡及的にIFRSを適用することを求めております。ただし、一部について例外を認めており、当社グループが採用した免除規定は次のとおりであります。

① 企業結合

移行日より前に行われた企業結合に対してIFRS第3号「企業結合」を遡及適用しないことを選択しております。この結果、移行日より前に行われた企業結合は、日本基準により会計処理しており、修正再表示していません。

② リース

契約にリースが含まれているか否かを移行日時点で存在する事象及び状況に基づき判定しております。

また、移行日前にファイナンス・リースに分類していた資産を除き、リース負債を移行日時点で測定し、同額を使用権資産として計上しております。原資産が少額もしくは短期リースに該当する場合の認識の免除について、移行日時点の状況で判断しております。

③ 移行日前に認識した金融商品の指定

IFRS第9号における金融商品の分類について、移行日時点で存在する事実及び状況に基づいて判断しております。

④ 株式報酬

移行日前に権利確定した株式報酬に対しては、IFRS第2号「株式に基づく報酬」を遡及適用しないことを選択しております。

(2) 強制的な例外規定

IFRS第1号は、「見積り」、「金融資産及び金融負債の認識の中止」等について、IFRSの遡及適用を禁止しております。当社グループは、これらの項目について移行日より将来に向かって適用しております。

(3) 調整表

日本基準からIFRSへの移行が、当社グループの連結財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響は、次のとおりであります。なお、調整表の「表示組替」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼさない項目を、「認識及び測定の違い」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼす項目を含めて表示しております。

① 移行日(2020年4月1日)の資本に対する調整

(単位:百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	2,764	△500	—	2,264		現金及び現金同等物
売掛金	753	12	—	765		営業債権及びその他の 債権
前払費用	32	△32	—	—		—
	—	543	—	543		その他の金融資産
その他	69	△24	△2	43	(a)	その他の流動資産
貸倒引当金	△1	1	—	—		—
流動資産合計	3,618	—	△2	3,616		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	27	—	—	27		有形固定資産
	—	—	431	431	(b)	使用権資産
無形固定資産						
ソフトウェア	186	△186	—	—		—
その他	0	△0	—	—		—
	—	187	—	187		無形資産
投資その他の資産						
投資有価証券	5	△5	—	—		—
関係会社株式	9	△9	—	—		—
敷金	64	△64	—	—		—
	—	98	—	98		その他の金融資産
繰延税金資産	18	—	9	27	(n)	繰延税金資産
その他	27	△20	△6	0	(a)	その他の非流動資産
固定資産合計	338	—	433	772		非流動資産合計
繰延資産	4	—	△4	—	(e)	—
繰延資産合計	4	—	△4	—		—
資産合計	3,962	—	426	4,388		資産合計

(単位：百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
負債の部						負債及び資本 負債
流動負債						流動負債
買掛金	67	23	—	91		営業債務及びその他の 債務
1年内返済予定の長期 借入金	438	—	△3	435	(a)	社債及び借入金
未払金	380	△380	—	—		—
未払費用	10	△10	—	—		—
	—	—	78	78	(b)	リース負債
	—	380	129	509	(g)	その他の金融負債
未払法人税等	102	—	—	102		未払法人所得税等
未払消費税等	18	△18	—	—		—
前受金	127	—	—	127		契約負債
預り金	6	△6	—	—		—
返金引当金	15	—	—	15		返金負債
その他	23	10	25	60	(d)	その他の流動負債
流動負債合計	1,189	—	230	1,419		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	609	—	△5	604	(a)	社債及び借入金
	—	—	352	352	(b)	リース負債
	—	—	127	127	(g)	その他の金融負債
資産除去債務	25	—	—	25		引当金
その他	20	—	—	20		その他の非流動負債
固定負債合計	656	—	474	1,130		非流動負債合計
負債合計	1,845	—	704	2,550		負債合計
純資産の部						資本
資本金	819	—	—	819		資本金
資本準備金	760	4	22	787	(e) (f)	資本剰余金
繰越利益剰余金	931	—	△300	631	(o)	利益剰余金
自己株式	△399	—	—	△399		自己株式
新株予約権	4	△4	—	—		—
純資産合計	2,116	—	△277	1,838		資本合計
負債純資産合計	3,962	—	426	4,388		負債及び資本合計



② 前第3四半期連結会計期間(2020年12月31日)の資本に対する調整

(単位:百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	2,911	△250	—	2,661		現金及び現金同等物
売掛金	526	42	—	569		営業債権及びその他の 債権
その他	175	△73	△4	97	(a) (k)	その他の金融資産 その他の流動資産
貸倒引当金	△1	1	—	—		—
流動資産合計	3,612	—	△4	3,607		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	52	—	—	52		有形固定資産
	—	—	412	412	(b)	使用権資産
無形固定資産						
のれん	2,152	—	△15	2,137	(g) (j)	のれん
その他	155	△155	—	—		—
		157	△1	156		無形資産
投資その他の資産						
	—	91	—	91		その他の金融資産
	—	26	△6	19	(n) (k)	繰延税金資産
その他	152	△122	△29	0	(a)	その他の非流動資産
貸倒引当金	△1	1	—	—		—
固定資産合計	2,510	—	359	2,869		非流動資産合計
繰延資産	26	—	△26	—	(e)	—
繰延資産合計	26	—	△26	—		—
資産合計	6,149	—	328	6,477		資産合計

(単位：百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
負債の部						負債及び資本 負債
流動負債						流動負債
買掛金	64	6	—	70		営業債務及びその他の 債務
1年内償還予定の社債	150	△150	—	—		—
1年内返済予定の長期 借入金	545	△545	—	—		—
	—	695	△15	679	(a)	社債及び借入金
	—	—	91	91	(b)	リース負債
未払金	632	3	46	681	(g)	その他の金融負債
未払法人税等	38	—	△26	11	(k)	未払法人所得税等
	—	87	—	87		契約負債
返金引当金	42	—	—	42		返金負債
その他	219	△97	28	150	(d)	その他の流動負債
流動負債合計	1,692	—	123	1,815		流動負債合計
固定負債						非流動負債
社債	600	△600	—	—		—
長期借入金	1,258	△1,258	—	—		—
	—	1,858	△32	1,826	(a)	社債及び借入金
	—	—	323	323	(b)	リース負債
	—	350	74	424	(g) (i)	その他の金融負債
資産除去債務	25	—	—	25		引当金
その他	351	△351	—	—		—
	—	1	—	1		繰延税金負債
固定負債合計	2,235	—	365	2,601		非流動負債合計
負債合計	3,928	—	488	4,417		負債合計
純資産の部						資本
資本金	825	—	—	825		資本金
資本剰余金	766	4	33	804	(e) (f)	資本剰余金
利益剰余金	1,024	—	△190	832	(o)	利益剰余金
自己株式	△399	—	—	△399		自己株式
新株予約権	4	△4	—	—		—
	—	—	△3	△3	(c)	その他の資本の構成要素
純資産合計	2,221	—	△160	2,060		資本合計
負債純資産合計	6,149	—	328	6,477		負債及び資本合計

③ 前連結会計年度(2021年3月31日)の資本に対する調整

(単位：百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	2,661	△250	—	2,411		現金及び現金同等物
売掛金	819	△5	△9	804	(1)	営業債権及びその他の 債権
前払費用	68	△68	—	—		—
その他	—	458	—	458		その他の金融資産
貸倒引当金	264	△142	△16	105	(a)	その他の流動資産
流動資産合計	△7	7	—	—		—
	3,806	—	△26	3,780		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	59	—	—	59		有形固定資産
	—	—	433	433	(b)	使用権資産
無形固定資産						
のれん	1,877	—	31	1,909	(g)(i)(j)	のれん
その他	429	△429	—	—		—
	—	435	△5	429	(m)	無形資産
投資その他の資産						
投資有価証券	1	△1	—	—		—
関係会社株式	9	△9	—	—		—
敷金	77	△77	—	—		—
	—	87	—	87		その他の金融資産
繰延税金資産	40	—	13	53	(n)	繰延税金資産
その他	54	△8	△45	1	(a)(h)(m)	その他の非流動資産
貸倒引当金	△1	1	—	—		—
固定資産合計	2,548	—	427	2,975		非流動資産合計
繰延資産	24	—	△24	—	(a)(e)	—
繰延資産合計	24	—	△24	—		—
資産合計	6,378	—	377	6,755		資産合計

(単位：百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
負債の部						負債及び資本 負債
流動負債						流動負債
買掛金	76	26	—	102		営業債務及びその他の 債務
短期借入金	50	602	△15	636	(a)	社債及び借入金
1年内償還予定の社債	150	△150	—	—		—
1年内返済予定の長期 借入金	452	△452	—	—		—
	—	—	104	104	(b)	リース負債
未払金	1,029	3	21	1,054	(g)	その他の金融負債
未払法人税等	14	—	—	14		未払法人所得税等
	—	74	—	74		契約負債
返金引当金	11	—	—	11		返金負債
その他	173	△103	35	104	(d)	その他の流動負債
流動負債合計	1,957	—	145	2,103		流動負債合計
固定負債						非流動負債
社債	525	1,341	△50	1,816	(a)	社債及び借入金
長期借入金	1,341	△1,341	—	—		—
	—	—	331	331	(b)	リース負債
長期未払金	350	—	6	357	(g) (i)	その他の金融負債
資産除去債務	28	—	—	28		引当金
繰延税金負債	96	—	—	96	(n)	繰延税金負債
固定負債合計	2,342	—	287	2,630		非流動負債合計
負債合計	4,299	—	433	4,733		負債合計
純資産の部						資本
資本金	827	—	—	827		資本金
資本剰余金	768	4	35	807	(e) (f)	資本剰余金
繰越利益剰余金	879	—	△87	791	(o)	利益剰余金
自己株式	△399	—	—	△399		自己株式
新株予約権	4	△4	—	—		—
	—	—	△3	△3	(c)	その他の資本の構成要 素
純資産合計	2,078	—	△56	2,022		資本合計
負債純資産合計	6,378	—	377	6,755		負債及び資本合計

④ 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)の包括利益に対する調整

(単位:百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	3,082	—	—	3,082		売上収益
売上原価	678	—	△4	673	(b) (d)	売上原価
売上総利益	2,404	—	4	2,409		売上総利益
販売費及び一般管理費	2,284	99	△103	2,280	(b) (d) (f) (j) (k)	販売費及び一般管理費
	—	160	△1	159		その他の収益
	—	26	△3	22	(a) (e)	その他の費用
営業利益	119	35	110	265		営業利益
営業外収益	55	△55	—	0		金融収益
営業外費用	38	△26	15	28	(a) (b) (g) (i)	金融費用
特別利益	105	△105	—	—		—
特別損失	103	△99	△3	—	(c)	—
税金等調整前四半期純利益	139	—	98	237		税引前四半期利益
法人税等合計	47	—	△11	35	(n) (k)	法人所得税費用
四半期純利益	92	—	109	202		四半期利益
その他の包括利益						その他の包括利益
						純損益に振り替えられ ることのない項目
	—	—	△3	△3	(c)	その他の包括利益を 通じて公正価値で測 定する資本性金融資 産
その他の包括利益合計	—	—	△3	△3		その他の包括利益合計
四半期包括利益	92	—	105	198		四半期包括利益

⑤ 前第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)の包括利益に対する調整

(単位:百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	1,241	—	—	1,241		売上収益
売上原価	248	—	△0	248	(b)(d)	売上原価
売上総利益	992	—	0	992		売上総利益
販売費及び一般管理費	914	12	△70	856	(b)(d)(f) (j)(k)	販売費及び一般管理費
	—	71	△1	70		その他の収益
	—	14	△1	12	(a)(e)	その他の費用
営業利益	78	44	70	193		営業利益
営業外収益	13	△13	—	0		金融収益
営業外費用	20	△14	1	7	(a)(b)(g)	金融費用
特別利益	58	△58	—	—		—
特別損失	12	△12	△0	—		—
税金等調整前四半期純利益	117	—	69	186		税引前四半期利益
法人税等合計	47	—	△21	25	(n)(k)	法人所得税費用
四半期純利益	69	—	91	161		四半期利益
その他の包括利益						その他の包括利益
						純損益に振り替えられ ることのない項目
	—	—	△0	△0	(c)	その他の包括利益を 通じて公正価値で測 定する資本性金融資 産
その他の包括利益合計	—	—	△0	△0		その他の包括利益合計
四半期包括利益	69	—	91	160		四半期包括利益

⑥ 前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)の包括利益に対する調整

(単位:百万円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	4,704	—	△15	4,689	(1)	売上収益
売上原価	949	—	△2	946	(b)(d)	売上原価
売上総利益	3,754	—	△12	3,742		売上総利益
販売費及び一般管理費	3,821	120	△151	3,790	(b)(d)(f)(h)(j)(k)(1)	販売費及び一般管理費
	—	202	△5	197		その他の収益
	—	53	△10	43	(a)(e)	その他の費用
営業損失(△)	△66	28	144	106		営業利益
営業外収益	74	△73	88	89		金融収益
営業外費用	70	△53	18	35	(a)(b)(g)	金融費用
特別利益	129	△129	—	—		—
特別損失	124	△120	△3	—	(c)	—
税金等調整前当期純損失(△)	△58	—	217	159		税引前当期利益
法人税等合計	△5	—	4	△0	(n)(k)	法人所得税費用
当期純損失(△)	△52	—	213	160		当期利益
その他の包括利益						その他の包括利益
						純損益に振り替えられることのない項目
	—	—	△3	△3	(c)	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産
その他の包括利益合計	—	—	△3	△3		その他の包括利益合計
包括利益	△52	—	209	156		当期包括利益

⑦ 調整に関する注記

主に以下の調整及び関連する税効果の計上を行っております。

(a) 実効金利法による償却原価法の適用による調整

日本基準において社債及び借入金に関連する不可分の手数料を前払費用及び長期前払費用、又は、その他流動資産及び投資その他の資産として資産計上し、償却期間に応じて償却しておりましたが、IFRSにおいては当該取引費用を直接帰属する償却原価で測定する金融負債から控除し、実効金利法により測定しております。

(b) リースに対する調整

日本基準では賃貸借処理していたリース取引の一部について、IFRSにおいては使用权資産及びリース負債を認識しております。

(c) 金融商品の測定に係る調整

非上場株式について、日本基準では取得原価で計上していますが、IFRSではその他の包括利益を通じて公正価値で測定しています。また、資本性金融資産について、日本基準では減損を純損益として認識しておりましたが、IFRSでは公正価値の変動額をその他の包括利益として認識しております。

(d) 未払有給休暇に対する調整

日本基準では認識していなかった未消化の有給休暇について、IFRSでは負債を認識しております。

(e) 株式交付費に対する調整

日本基準では繰延資産としていた株式の交付のために直接支出した資本取引費用について、IFRSでは資本から控除しております。

(f) 新株予約権に対する調整

日本基準では本源的価値で測定しておりました新株予約権については、IFRSでは移行日以降に権利確定するため、公正価値で測定しております。

(g) 企業結合に係る条件付対価に対する調整

日本基準では、買収時に日本基準による企業結合が適用された取引に係る条件付対価について、企業結合後にその交付又は引渡しが確実となる時点まで負債を認識しておりませんでした。IFRSでは、条件付対価の公正価値を測定し、当該公正価値を「その他の金融負債（流動）」及び「その他の金融負債（固定）」として計上しております。当該金融負債の公正価値の変動については、「金融収益」又は「金融費用」として認識しております。

(h) 前払広告宣伝費に係る調整

日本基準では将来に渡って効果が及ぶ広告宣伝費を資産計上し広告期間に渡って償却しておりましたが、IFRSでは当該広告にアクセスする権利を得た時点で費用として認識しております。

(i) 割賦未払金への償却原価法適用に伴う調整

日本基準では元本金額で測定していた一部の「割賦未払金」について、IFRSでは当初は公正価値で測定しその後は償却原価で測定しております。

(j) のれんに係る調整

日本基準ではのれんを一定期間にわたり償却しておりましたが、IFRSでは償却を行わないため、日本基準で移行日以降に計上したのれん償却額を戻し入れております。

(k) 法人所得税に係る調整

日本基準では法人税等合計に表示していた項目の一部について、IFRSでは販売費及び一般管理費として表示しております。

(l) 売上収益に係る変動対価の調整

日本基準では「販売費及び一般管理費」に含めていた変動対価の見積額については、IFRSでは売上収益の控除項目として表示しております。

(m) 無形資産に係る調整

日本基準では金融商品としていた資産の一部について、IFRSでは無形資産として表示しております。

(n) 税効果による調整

日本基準からIFRSへの調整に伴い一時差異が発生したことにより、「繰延税金資産」、「繰延税金負債」及び「法人所得税費用」の金額を調整しております。



(o) 利益剰余金に対する調整

IFRS適用に伴う利益剰余金への影響は以下のとおりであります。なお、以下の金額は、関連する税効果を調整した後の金額であります。

	移行日 (2020年4月1日) —単体—	前第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) —連結—	(単位：百万円) 前連結会計年度 (2021年3月31日) —連結—
(a) 実効金利法による償却原価法の適用による調整	△0	△2	△3
(b) リースに対する調整	—	△1	△1
(c) 金融商品の測定に係る調整	—	3	3
(d) 未払有給休暇に対する調整	△17	△28	△24
(e) 株式交付費に対する調整	3	6	6
(f) 新株予約権に対する調整	△31	△42	△43
(g) 企業結合に係る条件付対価に対する調整	△256	△262	△167
(h) 前払広告宣伝費に係る調整	—	△14	△14
(i) 割賦未払金への償却原価法適用に伴う調整	—	△1	△2
(j) のれんに係る調整	—	127	173
(k) 法人所得税に係る調整	—	26	—
(l) 売上収益に係る変動対価の調整	—	—	△9
(m) 無形資産に係る調整	—	△1	△5
その他	1	1	1
合計	△300	△190	△87

(p) 表示組替

IFRSの規定に準拠するために、主に以下の表示組替を行っております。

- ・ 日本基準において「現金及び預金」に含めていた預入期間が3ヶ月超の定期預金を、IFRSにおいては「その他の金融資産」(流動)として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた前払費用の一部を、IFRSにおいては「その他の流動資産」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた貸倒引当金を、IFRSにおいては「営業債権及びその他の債権」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において「その他」(流動資産)に含めていた未収入金を、IFRSにおいては「営業債権及びその他債権」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「無形固定資産」又は「その他の無形固定資産」を、IFRSにおいては「無形資産」として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「投資有価証券」「関係会社株式」「敷金」「その他」を、IFRSにおいては「その他の金融資産」(非流動)として表示しております。
- ・ 日本基準において「投資その他の資産」の「その他」に含めていた「長期前払費用」を、IFRSにおいては「その他の非流動資産」として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「買掛金」を、IFRSにおいては「営業債務及びその他の債務」として表示しております。
- ・ 日本基準において「その他」(流動負債)に含めていた営業未払金を、IFRSにおいては「営業債務及びその他の債務」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記又は「その他」(流動負債)に含めていた「未払金」を、IFRSにおいては「その他の金融負債」(流動)に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「前受金」を、IFRSにおいては「契約負債」として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「預り金」を、IFRSにおいては「その他の流動負債」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「返金引当金」を、IFRSにおいては「返金負債」として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「短期借入金」「1年内償還予定の社債」「1年内返済予定の長期借入金」「社債」「長期借入金」を、IFRSにおいては「社債及び借入金」として表示しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「資産除去債務」を、IFRSにおいては「引当金」として区分掲記しております。
- ・ 日本基準において区分掲記していた「新株予約権」を、IFRSにおいては「資本剰余金」に含めて表示しております。
- ・ 日本基準において「営業外収益」、「営業外費用」に表示していた項目について、IFRSでは主に財務関連項目を「金融収益」又は「金融費用」として、それ以外の項目については、「その他の収益」又は「その他の費用」として表示しております。

⑧ 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)及び前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)のキャッシュ・フローに対する調整

日本基準ではファイナンス・リース取引を除くリース料の支払いを、営業活動によるキャッシュ・フローに区分しておりましたが、IFRSではリース負債の返済として財務活動によるキャッシュ・フローに区分しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年7月26日付で、株式会社チェンジから第三者割当増資の払込みを受けております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が99百万円、資本剰余金が99百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が933百万円、資本剰余金が918百万円となっております。